

スポーツの大きな力を信じ 子どもたちの人生をより豊かに



一般社団法人 OneLife

〒465-0024

愛知県名古屋市長区本郷 2-142 ヒイロ本郷 102

TEL 052-747-1183 / FAX 052-308-8690

URL <http://www.onelife.or.jp>

Facebook <https://www.facebook.com/onelife2014>

Company data

代表理事 鈴木 裕二 [写真上]

障がいを持つ子どもとスポーツを引き合わせる事業を興したいという思いから、2014年1月に（一社）One Lifeを設立。放課後等デイサービス、ジュニアのフットボールクラブの運営を行っている。

理事 / 理学療法士 井町 淳也 [写真下]

スポーツトレーナーとして経験を積んだ後、理学療法士の資格を取得し、高齢者のリハビリに従事。現在は鈴木氏と共に子どもたちのための活動を展開する。

ちが教えてもらうことも多いですよ。

本田 私もサッカースクールで子どもたちを指導していますから、その気持ちはよく分かります。では、子どもと接する際にどんなことを心がけていますか？

鈴木 運動はうまくできなくても、挨拶などの礼儀、マナーやルールはきちんと守るように指導しています。そうすることで、子どもたちが社会に出たときに遅く生きられるようになってほしいと思っています。一度きりの人生、つまり“One Life”をより豊かでわくわくするものにしてもらいたいですね。

本田 社会性や人間力まで身に付けることができるのですか。最後に、今後についてはいかがですか？

鈴木 直近の目標は、より広い場所に拠点を移すこと。そうして子どもたちが十分に運動を楽しめるよう、環境を整えていきたいと思っています。

井町 子どもの成長をサポートし続けていくと共に、障がいを持つ方がもっと生活しやすい社会にしていきたいですね。



本田 さっそくですが、One Lifeさんの活動内容からお聞かせください。

鈴木 障がいを持つ小学生から高校生までの子どもに向けた、スポーツに特化した放課後等デイサービスの提供が主な事業です。放課後や長期休暇中などに、簡単な遊びやエクササイズ、チーム戦でのスポーツといった運動面から、子どもたちをサポートしています。また、そのほかに地域の小学生に向けた「守西フットボールクラブ」の運営も行っています。

本田 そもそも、こうした事業をスタートさせたきっかけというのは？

鈴木 以前、サッカースクールの事務局で働いていたときに、障がいを持つ方の就労支援に携わる機会があったんです。それがきっかけで“障がい”、“子ども”、“スポーツ”の3つを軸とした仕事をしたいと考えるようになりました。

井町 私が鈴木と知り合ったのも、そのサッカースクールでした。前職では理学療法士として高齢者のリハビリを手がけていましたが、子どもたちの運動能力向上をサポートしたいと思い始め、鈴木と一緒に活動するようになったんです。

本田 なるほど。子どもたちの成長を強く実感できる仕事ですから、やりがいも大きいでしょうね。

鈴木 ええ。最初のうちは指示内容が分からず、1列に並ぶことさえできなかった子どもたちが、最終的にはしっかりスポーツのプログラムをこなせるようになることも——。そうした子どもたちの可能性を垣間見られるのは、何よりの幸せですね。

井町 子どもたちは成長過程の真っ只中にあり、そうした成長スピードの速さには驚かされてばかりです。むしろ、私た



▲（一社）One Lifeが運営する「守西フットボールクラブ」の活動の様子

Guest Comment

本田 泰人（サッカー解説者）

スポーツは子どもに大きな希望を与えてくれます。その可能性を信じ、私と同じように活動されている方とお話ができ嬉しかったです。日本はまだ障がい者が暮らしやすい環境が整っているとは言えないと思いますが、こうした活動をきっかけに改善が進んでほしいですね。

